

第14回 ゲノム病理標準化講習会プログラム

期間:2025年7月1日(火)10:00 —2025年7月31日(木)23:59

オンデマンド講習会

1. 本講習の目的: ゲノム研究基盤整備における病理の役割 (冒頭挨拶にかえて) (20分)

慶應義塾大学医学部 病理学教室 金井弥栄

2. 講義 (○はテキスト「ゲノム研究用・診療用病理組織検体取扱い規程(羊土社刊)」使用、書籍をお持ちでない方はオンデマンド配信ページより pdf 版をダウンロードできます / ●はハンドアウト使用)

1)

○ ゲノム研究用病理組織検体取扱い規程「第1部の解説:研究用病理組織検体の適切な採取部位」(30分)

九州大学医学部医学研究院 形態機能病理学 小田義直

2)

○ ゲノム研究用病理組織検体取扱い規程「第2部の解説:凍結組織検体採取・保管・移送方法」(60分)

慶應義塾大学医学部 病理学教室 金井弥栄

3)

○ ゲノム研究用病理組織検体取扱い規程

「第3部の解説:ホルマリン固定パラフィン包埋標本の適切な作製・保管方法」(40分)

慶應義塾大学医学部 病理学教室 金井弥栄

4)

● 病院病理診断部における研究用病理組織検体収集・管理の実際 (30分)

九州がんセンター 病理診断科 田口健一

5)

● 病理組織検体を収納する研究のためのバイオバンクの構築 (30分)

神奈川県立がんセンター 臨床研究所 宮城洋平

6)

● 病理組織検体を用いた分子病理学的解析手技の実際 (30分)

国立がん研究センター 先端医療開発センター 臨床腫瘍病理分野 加藤洋人

7)

● 病理組織検体を用いたがんエピゲノム・多層オミックス研究の実際 (30分)

慶應義塾大学医学部 病理学教室 新井恵吏

8)

● 認定病理検査技師の役割 (30分)

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 小松京子

*受講修了証は、講義の聴講ならびに小テストの完了をもって発行されます。必ず会期中に各自でダウンロードし、印刷するようにしてください。会期後のダウンロードはできません。